

みずほCustomer Desk Report 2024/11/01 号(As of 2024/10/31)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	153.65
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	153.24	1.0858	166.32	1.2957	0.6573
SYD-NY High	153.62	1.0888	166.65	1.2999	0.6584
SYD-NY Low	151.84	1.0844	165.00	1.2845	0.6540
NY 5:00 PM	152.02	1.0884	165.45	1.2900	0.6582
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	41,763.46	▲ 378.08	日本2年債	0.4300%	▲0.0100%
NASDAQ	18,095.15	▲ 512.78	日本10年債	0.9300%	▲0.0200%
S&P	5,705.45	▲ 108.22	米国2年債	4.1682%	▲0.0041%
日経平均	39,081.25	▲ 196.14	米国5年債	4.1538%	▲0.0027%
TOPIX	2,695.51	▲ 8.21	米国10年債	4.2814%	▲0.0181%
ソコ日経先物	38,430.00	▲ 955.00	独10年債	2.3915%	0.0180%
ロンドンFT	8,110.10	▲ 49.53	英10年債	4.4450%	0.0960%
DAX	19,077.54	▲ 179.80	豪10年債	4.5180%	0.0530%
ハンセン指数	20,317.33	▲ 63.31	USDJPY 1M Vol	12.92%	▲0.36%
上海総合	3,279.82	13.59	USDJPY 3M Vol	11.88%	0.02%
NY金	2,749.30	▲ 51.50	USDJPY 6M Vol	11.09%	0.02%
WTI	69.26	0.65	USDJPY 1M 25RR	▲0.87%	Yen Call Over
CRB指数	279.86	▲ 0.39	EURJPY 3M Vol	10.61%	0.08%
ドルインデックス	103.98	▲ 0.02	EURJPY 6M Vol	10.44%	0.22%

東京	東京時間のドル円は153.24レベルでオープン。月末日における実需勢のドル買いフローもあってか、仲値にかけてはドル買い優勢の展開。その後、日銀は金融政策決定会合において政策金利の維持を決定。一時153.62まで急伸するもすぐに反落するなど売買が交錯した。午後は植田総裁の会見を控え、持ち高調整とみられる売りに押され上値重く推移。152.80付近まで値を下げ、結局、152.78レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、152.78レベルでオープン。植田総裁の発言を受けて151.92まで売られる立ち上がり。米株先物が下げ止まるとドル円も切り返し152.73レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0850レベルでオープン。ユーロ圏10月CPI速報値が予想を上回る中でユーロは堅調推移。1.0869レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は153円台半ばでスタート。東京時間では、日銀が金融政策決定会合で、現行の政策金利を維持する事を発表した。続いて行われた植田日銀総裁の記者会見では「経済・物価の見通し実現すれば金利を引き上げる」、25年度の物価見通しを巡っては「上振れリスクの方が大きい」との等との発言に円買いが優勢となり、151.91まで下落。その後は円買い一巡り、米金利の上昇を背景に徐々に戻し、152.73レベルでNYオープン。朝方に発表された米第3四半期雇用コスト指数は予想を下回るも、同時に発表された米新規失業保険申請件数が予想を下回った事や、米9月個人消費が予想以上の伸びを見せた事を受け、153.05まで買われる。しかし、その後は米金利の低下が重しとなり、152.10付近まで反落。午後は米金利が低水準で推移する展開が上値を抑え、151.84まで値を下げ、その後152.02レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。ユーロ圏10月CPI(速報値)が予想を上回ると、ユーロ買いが優勢となり、1.0869レベルでNYオープン。午前中は1.0888まで上昇する場面もあったが、その後は独金利の低下が重しとなり、1.0847まで反落。午後はドル売り地合いに支えられ、1.0880付近まで戻し、1.0884レベルでクロス。

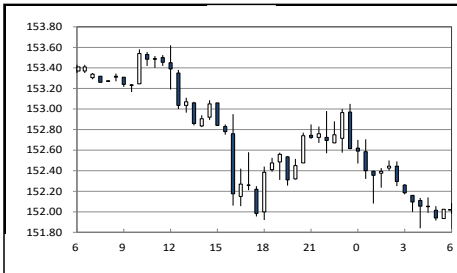
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月31日	09:30	豪 小売売上高(前月比)	9月 0.1%	0.3%
	10:30	中 PMI 製造業/非製造業	10月 50.1/50.2	49.9/50.3
	16:00	独 小売売上高(前月比)	9月 1.2%	-0.6%
	19:00	欧 CPI速報値(前年比)	10月 2.0%	1.9%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	26-Oct 216k	230k
	21:30	米 PCE価格指数(前年比)	9月 2.1%	2.1%

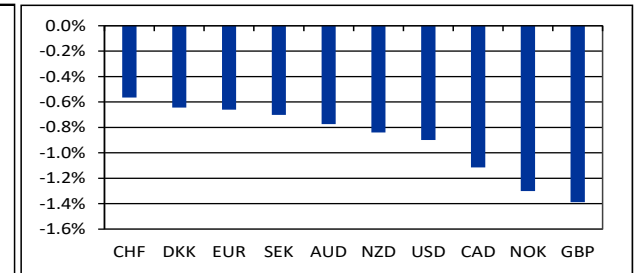
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月1日	09:30	豪 PPI 前年比	3Q -	4.8%
	10:45	中 Caixin中国製造業PMI	10月 49.7	49.3
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	10月 100k	254k
	21:30	米 失業率	10月 4.1%	4.1%
	21:30	米 平均時給 前月比/前年比	10月 0.3%/4%	0.4%/4%
	22:45	米 製造業PMI・確報	10月 47.8	47.8
	23:00	米 建設支出(前月比)	9月 0.0%	-0.1%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	10月 47.6	47.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.00—154.50	1.0850—1.0950	165.00—167.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上下する展開。注目の日銀政策決定会合では市場予想通りの政策金利据え置きが決定された。植田総裁の会見では、「時間的余裕」の表現を封印、引き続き政策金利引き上げを検討していくとの姿勢がタカ派と捉えられたことで、円買い優勢に。ドル円は一時152円を割りこむも、発表された米経済指標の良好な結果から153円台を回復した。しかし、その後は米金利低下が重石となり結局152.02でクロス。本日は(米)10月雇用統計の発表を控える。ハリケーンの影響による予想下振れについては市場も織り込んでいるものとみられるが、一昨日発表された(米)10月ADP雇用統計は予想をはるかに上回る良好な結果であっただけに、ハリケーンの影響があったにも関わらず、本日の雇用統計が強い結果となった場合には、堅調な米国の労働市場が改めて意識されよう。その場合には一層のドル買いが加速しやすく、ドル円はもう一段の上昇に警戒が必要か。週明け4日は本邦祝日となることから、薄商いの中での相場急変動に備え、リープオーダーの活用を推奨したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。